

2024年10月24日



報道関係者各位

一般社団法人海と日本プロジェクト in 愛知県

## 第41回伊勢湾ごみ流出防衛最前線！

### '24秋の藤前干潟クリーン大作戦！

2024年10月19日（土）10時～11時30分 <藤前干潟周辺（中堤会場、藤前会場）>

>

海と日本プロジェクト in 愛知県は、伊勢湾総合対策協議会・海洋ごみ対策検討会（岐阜県・愛知県・三重県・名古屋市）と連携し、10月19日（土）に、「第41回伊勢湾ごみ流出防衛最前線！'24秋の藤前干潟クリーン大作戦！」に参加しました。本イベントは、藤前干潟クリーン大作戦実行委員会の主催で、ラムサール条約登録湿地である「藤前干潟」周辺の漂着ごみを清掃して海洋ごみを減らすことを目的に毎年開催されています。

このイベントは、日本財団が推進する海洋ごみ対策プロジェクト「海と日本プロジェクト・CHANGE FOR THE BLUE」の一環で開催するものです。

公式サイト：<https://cleanupfujimae-1.jimdofree.com/>



## イベント概要

- ・開催概要：'24 秋の藤前干潟クリーン大作戦
- ・日程：2024 年 10 月 19 日（土）10 時 00 分～11 時 30 分
- ・開催場所：藤前干潟周辺（中堤会場、藤前会場）
- ・参加人数：1,987 名(中堤会場 511 名)
- ・協力団体：藤前干潟クリーン大作戦実行委員会事務局、伊勢湾総合対策協議会・海洋ごみ対策検討会、伊勢湾流域圏海洋ごみ対策推進広域計画、伊勢湾流域圏の一斉清掃

## 普段見えない川岸には大量の漂着ごみ！

毎年秋に行われる「クリーン大作戦」では、藤前会場だけでなく、上流域に位置する中堤会場の堤防も清掃対象となっています。この中堤会場は普段は閉鎖されており、一般の人々が入ることのできないエリアですが、今回の清掃活動には 511 名もの参加者が集まりました。

中堤会場の堤防は、河川ごみが藤前干潟やその先の海に流出する直前の重要なエリアです。堤防の岸边にはヨシ（葦）が群生しており、一見すると遠くからはごみがあまり目立たないように見えます。しかし、実際に近くで堤防から川の様子を観察すると、ヨシの茂みに大量のペットボトルや空き缶、その他多種多様な漂着ごみが堆積しているのがはっきりとわかります。参加者たちは、そのごみの多さに驚きつつも「やりがいがある」と前向きに捉え、足元が悪い中でも積極的にごみを拾い続けました。

中堤会場だけで、45 リットルのごみ袋 421 袋分のごみを集めることができ、藤前会場や他の会場を合わせると、合計 1,028 袋分ものごみが回収されました。



## 参加した子ども・保護者からの声

- ・こんなに大量のごみが落ちている場所もないからとてもやりがいがあった。

- ・ペットボトルや空き缶、大きいごみ以外に小さなプラスチックが溜まっていたが拾うのが難しい。
- ・ヨシの間まで入ってごみを拾うのは宝探しみたいで楽しかった。



### 伊勢湾総合対策協議会・海洋ごみ対策検討会

東海三県一市（岐阜県・愛知県・三重県・名古屋市）で構成し、伊勢湾及びその流域圏における総合的な海洋ごみに関する課題について連携して取り組み、伊勢湾全体の景観や海洋環境の保全を図り、美しく健全で活力ある伊勢湾の再生に資する活動を進めています。

### 伊勢湾流域圏海洋ごみ対策推進広域計画

東海三県一市（岐阜県・愛知県・三重県・名古屋市）は、伊勢湾流域圏の複数自治体による広域計画の策定に向けた検討を重ね、令和6年3月、岐阜県、愛知県、三重県の三県が共同して伊勢湾流域圏の海洋ごみの現状や取組の方向性を取りまとめた「伊勢湾流域圏海洋ごみ対策推進広域計画」を策定しました。本計画に基づき、伊勢湾流域圏での広域的な海洋ごみの発生抑制対策を推進しています。

<https://www.pref.mie.lg.jp/common/content/001126954.pdf>

### 伊勢湾流域圏の一斉清掃

令和6年度は「伊勢湾流域圏の一斉清掃」の期間を設け、三県一市で連携して、自主的な清掃活動の実施・参加を呼びかけています。身近な場所でのごみ拾いや清掃イベントへの参加にご協力をお願いします。

<https://www.pref.mie.lg.jp/common/content/001157802.pdf>

### <団体概要>

団体名称 : 一般社団法人海と日本プロジェクト in 愛知県

URL : [https://tv-aichi.co.jp/aichi\\_uminohi/](https://tv-aichi.co.jp/aichi_uminohi/)

活動内容 : 愛知県を対象地域とした海と日本プロジェクトを推進する。



## CHANGE FOR THE BLUE

国民一人ひとりが海洋ごみの問題を自分ごと化し、“これ以上、海にごみを出さない”という社会全体の意識を向上させていくことを目標に、日本財団「海と日本プロジェクト」の一環として 2018 年 11 月から推進しているプロジェクトです。

産官学民からなるステークホルダーと連携して海洋ごみの削減モデルを作り、国内外に発信していきます。

<https://uminohi.jp/umigomi/>



## 日本財団「海と日本プロジェクト」

さまざまなかたちで日本人の暮らしを支え、時に心の安らぎやワクワク、ひらめきを与えてくれる海。そんな海で進行している環境の悪化などの現状を、子どもたちをはじめ全国の人が「自分ごと」としてとらえ、海を未来へ引き継ぐアクションの輪を広げていくため、オールジャパンで推進するプロジェクトです。

<https://uminohi.jp/>